

◇ 光プロジェクト（進路探究） 「先輩講話」

日 時 ○ 令和4年 5月20日(木) 14時15分～15時35分

参加者 本校全生徒（1～3年生） および 附属中学校生徒(40名)

場 所 1～3年各教室 および 本校西教室（校内オンラインのスタジオ）
各クラスの代表者21名は西教室で受講

講 師 松本 勝男 様〔独立行政法人 国際協力機構（JICA）インフラ技術業務部長〕
(本校第 84 回卒業生)

👉 今年度の「先輩講話」は、本校第 84 回卒業生の 松本 勝男 様を迎えて行われました。本来は昨年度お越しいただく予定でしたが、当時松本さんは JICA（国際協力機構）のインド事務所長として医療機器の提供などに大活躍されており（新聞やネットニュースでも報道されました）、また日本への出入国が厳しく制限されていたことから、実施は叶いませんでした。したがって、一年越しの実現、満を持してのご登場となったわけです。

本校在籍時は陸上競技部に所属され、砲丸投げでインターハイ 5 位、国体 6 位！という華々しい成績を残された松本さん。卒業後は一橋大学に進学され、大学卒業後、東南アジア地域や南アジア地域等の開発援助に従事されました。コロンビア大学国際公共政策学修士課程修了（修士）、東京大学大学院工学系研究科先端学際工学博士課程修了、また一橋大学大学院社会学研究科客員教授も務められるなど、輝かしい経歴をお持ちの方です。



また現在は著述にも力を入れておられ、近著として『インドビジネス ラストワンマイル戦略』（日本経済新聞出版）も出版されています。

そんな凄い先輩をお迎えしたわけですが、当の松本さんは飾らず気取らず、実に気さくに、そして真摯に生徒たちに語りかけてくださいました。ご本人が「場が凍りつくのでは…」と気にされていたジョークも、お話全体に程よいアクセントを与えていたと思います。

そのお話は実に多岐にわたりました。タイ・マレーシア・インドネシアでのご経験、ウクライナのボリスポリ国際空港建設を担当した際、最初はよそよそしかった現地の人々から信頼を獲得したときのこと、インド社会の現実（特に農村の実情…先生がいない、医師がいない、クリニックがない、きれいな水がない、ワクチンを運ぶ冷蔵トラックがない…

など)、メコン川に「第2メコン国際橋」を架橋したときのエピソードなど、開発途上国を中心に国際支援に尽力してきたご経歴を、平易な言葉で語ってくださいました。



そして、後輩にあたる生徒諸君へも心に残るメッセージをいただきました。

国際協力の仕事には実は反対も多いけれど、「簡単にあきらめてはいけない」こと。

アメリカの大学院に留学した際、宿題の膨大さに“結構めげた”けれど、途上国からの留学生が「私は国の奨学金で、国のために学んでいるのだから、死ぬほど勉強しなければならないんです」と言ってキッチリこなしているのを見てエンジンがかかり、「限界に挑戦してみることに」の大切さに目覚めたこと。

そして「地方の出身でよかった。途上国では田舎の感覚が通用する」というお言葉は、ほぼ全員が田舎在住の(?)本校生に、どれだけの勇気を与えてくださったことか…！ 本当にあっという間の1時間でした。

惜しむらくは、ほとんどの生徒が、「校内オンライン」のために電子黒板ごしで松本さんの講話を聴かなければならなかったことです。

コロナ禍が終焉に向かった後、もし再びご来校の機会をいただければ、今度はぜひ生徒諸君に「対面」で、熱いお話を聞かせていただきたいと思います。

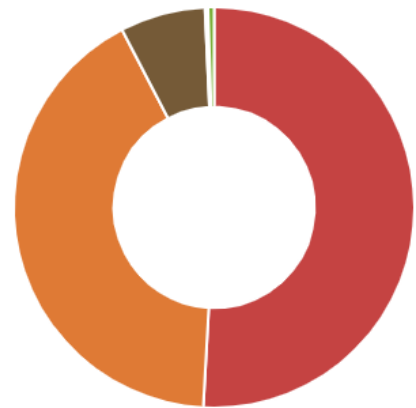
松本さん、改めてありがとうございました。



＜生徒アンケート＞

○今回の講話を受講したことは、あなたにとって有意義でしたか。

- ・ 大いに意義があった … 51.1 %
- ・ 意義があった … 41.52 %
- ・ どちらとも言えない … 6.88 %
- ・ あまり意義を感じなかった … 0.25 %
- ・ 意義を見出せなかった … 0.25 %



○今回の講話の感想を簡潔に記述してください。

- ・ 同じ下妻一高生からも、世界で活躍している人がいるということを知って、自分にも世界で活躍するということを身近に感じる事が出来ました。この経験を活かして、これから職業選択の幅を増やしていきたいです。
- ・ 諦めないことや自分で限界を決めないことの大切さを学びました。私も将来海外とかで色々な人の役に立てるように頑張りたいです。めっちゃ話面白かったです。
- ・ 今回の講話を聞いて、特に、自分の意志を貫く勇気を持つことの大切さを学びました。また、世界にはまだまだ各国の支援を必要としている国もあるのだということに改めて気付かされました。今後はもっと世界のことに興味を持ち、自分に出来ることを少しずつでも出

来るようにしたいと思いました。また、日頃から世界のニュースを見たり、気になった事の情報を集めたりするようにしたいと思いました。

- 国が違えば、文化も食べ物も人々が思っていることも違うけれど、そんなみんな違ってみんないいような世の中に明かりを灯すため、さまざまなプロジェクトを掲げ、それを実現するためにたくさんの努力をした姿が素晴らしいと思いました。私も国際関係のことに興味があって、今回の松本さんのお話は私にとって深く考えさせられるようなものであり、とても有意義な時間となりました。ウクライナ情勢や貧困問題、宗教や文化との関わり方など現在進行形でとても重要視されている問題について、これから私も最新の情報を入手しながら多くのことを学びんでいきたいです。
- 海外で何年か暮らした身として、共感できる部分が多く、楽しく聞かせていただけて良かったです。また、「簡単に諦めないこと」は私の克服したい点であるので、3つの中でも特に注意していこうと思いました。
- とても丁寧で面白いお話しありがとうございました。教科書で見たラオスの橋が松本さんの協力によりできていると知り、世の中って狭いものなんだと改めて実感しました。中学校の時はラオスの現地の方とコーヒー豆のフェアトレードを行っている方からお話を聞く機会があって、今回のお話と共通点がいくつかありました。個人と組織とではできることが違って、でもどちらも芯は一緒なのだわかりました。とても勉強になりました！
- 諦めなくなった時に、待っている人がいるから頑張れるという感情が出てきたというお話を聞いて、大きな責任と達成感のあるお仕事であることが分かった。またそんな感情を持てるような職業に就きたいと思った。
- 松本さんの最後にいっていた「地方は役に立つ」「諦めない」「限界に挑む」という言葉はこれから先の人生に役に立つとおもいました。
- 松本さんが高校時代に明確な目標がなかったことに驚いた。最近勉強に意味が見いだせずあまりやる気にならなかったが、とりあえずやってみようと思った。
- ジョークを交えた松本さんの講話はとても面白く、これからの人生のためになりました私はあまり色々なことに積極的になれず冒険することが苦手ですが、様々なことに着手してきた松本さんの話を聞き、気になることややりたいことに対してもっと積極的になろうと思えました。
- ユーモアがあって話を聞いていてとても楽しかった。日本がウクライナに対してどのような支援をしているのか知らなかったのも、松本さんのお話で詳しく知ることが出来てとても有意義な時間だった。
- 自分の今の世界よりもはるかに大きい世界があることを知り、恐れずに挑戦しようと思った。
- 講義終了後に飛び込みで質問したにも関わらず、丁寧に対応していただきありがとうございました。高校生になり自分のなかで未熟な考えと、社会的な考えが入り交じっていたので、松本さんの「自分のやりたいことの軸をもつ」というお言葉に大変感銘を受けました。大変有意義な時間をありがとうございました。